

(株)ジャパンディスプレイ サステナビリティレポート2025 環境データ集

1. 環境測定データ

当社(国内製造拠点)の環境測定データ2024年度実績を下表に示します。

水質管理

生活環境項目

工場名	放流先	BOD ^{*1} (mg/L)					COD ^{*2} (mg/L)					SS ^{*3} (mg/L)					水素イオン濃度 (pH)				
		法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値
茂原①	河川	10	8	<0.5	0.8	1.2	25	20	3.6	3.9	4.6	20	15	<0.5	1	2	5.8～8.6	6.0～8.4	7.3	7.5	7.8
茂原②	河川	10	8	<0.5	0.5	0.7	25	20	2.3	3.0	3.8	20	15	<0.5	1	1	5.8～8.6	6.0～8.4	6.8	7.2	7.4
鳥取	下水道	600	450	29	112	200	—	—	—	—	—	600	300	5	15	35	5.0～9.0	6.0～8.7	6.9	7.1	7.2
石川	河川	40	29	2.9	4.5	6.2	160	125	1.6	1.9	2.2	120	60	1	2	3	5.8～8.6	6.1～8.2	7.1	7.4	7.5

工場名	放流先	ノルマルヘキサン 抽出物質 (mg/L)					フェノール類 (mg/L)					りん (mg/L)					窒素 (mg/L)				
		法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値
茂原①	河川	2	1.6	<0.5	0.5	0.5	0.50	0.40	<0.05	<0.05	<0.05	8	6.4	<0.1	<0.1	<0.1	100	80	4.5	7.8	11.0
茂原②	河川	2	1.6	<0.5	<0.5	<0.5	0.50	0.40	<0.05	<0.05	<0.05	8	6.4	<0.1	<0.1	<0.1	100	80	12	16.2	24.0
鳥取	下水道	5	2.5	<1.0	<1.0	<1.0	5	2.5	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	河川	5	4.0	<0.5	<0.5	<0.5	5	4	<0.1	<0.1	<0.1	16	14.9	0.14	0.80	4.10	120	95	3.4	4.1	4.4

有害物質

工場名	放流先	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)					ほう素及びその化合物 (mg/L)					ふっ素及びその化合物 (mg/L)				
		法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値	法等の 規制値	自主 基準値	最小値	平均値	最大値
茂原①	河川	100	80	4.0	7	10	10	8	0.02	0.05	0.06	8	6.4	0.4	0.6	0.8
茂原②	河川	100	80	8	15	21	10	8	0.01	0.12	0.23	8	6.4	1.2	1.5	2.6
鳥取	下水道	380	190	0.9	1.9	4.3	10	5	<0.2	<0.2	<0.2	8	5	0.8	1.4	2.3
石川	河川	100	80	2.0	2.0	3.0	10	8	<0.1	<0.1	<0.1	8	6.0	0.4	0.6	1.1

^{*1} Biochemical Oxygen Demand (生物化学的酸素要求量) ^{*2} Chemical Oxygen Demand (化学的酸素要求量) ^{*3} Suspended Solids (浮遊物質)

大気管理

工場名	対象設備	台数	ばいじん ^{*4} (g/Nm ³)			窒素酸化物 ^{*5} (vol ppm)			硫黄酸化物 ^{*6} (Nm ³ /h)		
			法等の 規制値	自主 基準値	実績	法等の 規制値	自主 基準値	実績	法等の 規制値	自主 基準値	実績
茂原	貫流ボイラー	20	0.1	0.01	<0.01	150	120	23	—	—	—
鳥取	貫流ボイラー	7	0.1	0.05	0.004	150	75	22	—	—	—
	吸収式冷凍機	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	貫流ボイラー	3	0.3	0.15	0.003	180	105	78	2.05	0.28	0.015
	炉筒煙管ボイラー	2	0.3	0.15	0.007	180	164	90	6.4	3.21	0.110
	ガスタービン	4	0.05	0.025	0.003	70	58	41	9.53	5	0.277

^{*4} ばいじん: すずや燃えかすの固体粒子状物質のこと。 ^{*5} 窒素酸化物: 窒素原子(N)と酸素原子(O)が結合し生成される物質の総称。
^{*6} 硫黄酸化物: 硫黄と酸素との化合物で二酸化硫黄(亜硫酸ガス)を主とし、三酸化硫黄などを含む総称。

騒音・振動管理

単位: dB

工場名	区分	時間帯	法等の 規制値	自主 基準値	実績(最大値)
茂原	騒音	朝 06:00～08:00	65	60	55
		昼間 08:00～19:00	70	65	61
		夕 19:00～22:00	65	60	56
		夜間 22:00～06:00	60	57	55
	振動	昼間 07:00～22:00	65	60	53
		夜間 22:00～07:00	60	55、60 ^{*7}	41、54
鳥取 ^{*8}	騒音	朝 06:00～08:00	70	70	52
			65	65	40
		昼間 08:00～19:00	70	70	46
			65	65	48
		夕 19:00～22:00	70	70	42
			65	65	38
		夜間 22:00～06:00	65	65	42
			50	50	38
	振動	昼間 07:00～22:00	65	65	34
		夜間 22:00～07:00	60	60	33
石川	騒音	朝 06:00～08:00	60	60	55
		昼間 08:00～19:00	65	65	52
		夕 19:00～22:00	60	60	51
		夜間 22:00～06:00	50	50	49
	振動	昼間 07:00～22:00	65	50	<30
		夜間 22:00～07:00	60	50	<30

^{*7} 2023年度からの追加測定点のもの。
^{*8} 騒音規制区域は工場敷地境界の位置で異なり2通りあります。

臭気管理

工場名	項目	物質	単位	法等の 規制値	自主 基準値	実績	物質	単位	法等の 規制値	自主 基準値	実績	物質	単位	法等の 規制値	自主 基準値	実績			
茂原	1号規制(敷地境界)	-	臭気 指数	14	14	<10	-					-							
鳥取	1号規制(敷地境界)	アンモニア	ppm	5	5	<0.1	硫化水素		ppm	0.2	0.2	<0.002	キシレン		ppm	1	1	<0.1	
		トルエン	ppm	10	10	<1	-					-							
	2号規制(気体排出口)	アンモニア	m3/h	710	710	<0.0020	トルエン	有機障害 排気塔	m3/h	1200	1200	-	キシレン	有機障害 排気塔	m3/h	120	120	-	
		-	-	-	有機障害 大気開放口	m3/h		890	890	<0.019	有機障害 大気開放口	m3/h		89	89	<0.0019			
	3号規制(排水水)	硫化水素	mg/L	0.2	0.2	<0.0005	-	-	-	有機障害 浄化ガス出口	m3/h	1100		1100	-	有機障害 浄化ガス出口	m3/h	110	110
石川	1号規制(敷地境界)	アンモニア	ppm	2	1	<0.1	メチルメルカプタン	ppm	0.004	0.0012	<0.0002	硫化水素		ppm	0.06	0.018	<0.0005		
		硫化メチル	ppm	0.05	0.01	<0.0005	二硫化メチル	ppm	0.03	0.009	<0.0009	トリメチルアミン	ppm	0.02	0.006	<0.0005			
		プロピオン酸	ppm	0.07	0.03	<0.005	ノルマル酪酸	ppm	0.002	0.001	<0.0002	ノルマル吉草酸	ppm	0.002	0.0009	<0.0002			
		イソ吉草酸	ppm	0.004	0.001	<0.0002	アセトアルデヒド	ppm	0.1	0.03	<0.005	プロピオン アルデヒド	ppm	0.1	0.03	<0.005			
		ノルマルブチル アルデヒド	ppm	0.03	0.009	<0.001	イソブチル アルデヒド	ppm	0.07	0.021	<0.002	ノルマルパレル アルデヒド	ppm	0.02	0.006	<0.002			
		イソパレル アルデヒド	ppm	0.006	0.0018	<0.001	イソブタノール	ppm	4	1.2	<0.09	酢酸エチル	ppm	7	2.1	<0.3			
		メチルイソブチル ケトン	ppm	3	0.9	<0.1	トルエン	ppm	30	9	<1	スチレン	ppm	0.8	0.24	<0.04			
		キシレン	ppm	2	0.6	<0.1	-					-							
		メチルメルカプタン	mg/L	0.01	0.003	<0.001	硫化水素	mg/L	0.07	0.02	<0.005	硫化メチル	mg/L	0.3	0.07	<0.01			
	3号規制(排水水)	二硫化メチル	mg/L	0.4	0.09	<0.01	-					-							

2. PRTR届出物質

当社(国内製造拠点)のPRTR制度に基づく2024年度届出実績を下表に示します。

PRTR届出物質一覧

化学物質名称	排出量				移動量			
	大気		公共水域		下水道		事業所外	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
酢酸2-メトキシエチル	0	0	0	0	0	0	0	0
2-アミノエタノール	40	40	69	78	0	0	0	0
ぶっ化水素及びその水溶性塩	564	555	0	0	0	0	0	0
ほう素化合物	0	0	0	0	0	0	0	0
インジウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0
モリブデン及びその化合物	0	0	270	301	0	0	3,300	1,704
ブチルセロソルブ	280	0	0	0	0	0	890	0
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	40	40	8,100	4,400	4,000	2,000	0	0
テトラメチルアンモニウムニヒドロキシド	159	132	1,100	1,300	37,000	24,000	151,300	121,200
N-メチル-2-ピロリドン	1,760	1,370	480	350	0	0	13,000	10,500

なお、排出量のうち、当該事業所における土壌、埋立処分及び塩化第2鉄の排出量、移動量の実績が「0」のため記載しておりません。

3. 環境会計

当社(国内製造拠点)の環境保全に関する投資、費用、効果について、2024年度実績を下表に示します。

環境保全コストまとめ

大分類		項目	内容	投資	費用
環境保全コスト ※9 (事業エリア内コスト)	公害防止コスト		大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、 悪臭等の防止のためのコスト	0	1,727
	地球環境保全コスト		地球温暖化防止及び省エネルギー、 オゾン層破壊防止等のためのコスト	0	48
	資源循環コスト		資源の効率的利用、産業廃棄物・ 一般廃棄物のリサイクルや処理・ 処分等のためのコスト	0	822
	合計			0	2,596

※9 環境関連の分析・測定費用も事業エリア内コストに含む。

環境保全効果まとめ

大分類	分類	項目	効果	単位
環境保全効果 (物量単位)	環境負荷及び廃棄物に関する 環境保全効果 ※10	エネルギー起源CO ₂ 排出量	37	千t-CO ₂
		廃棄物等排出量	670	t
環境保全対策に伴う 経済効果	環境負荷及び廃棄物に関する 事業収入	有価物売却額	13	百万円

※10 生産量の変化を考慮すべく、環境会計ガイドラインに定めた以下の式で求めた値
効果 = 前年度排出量 × (当年廃棄物面積/前年度廃棄物面積) - 当年廃棄物量